

熱演に大きな拍手

9月
4日

9月4日(日)、第10回くにさき演劇祭がアストくにさきで行われました。

国東町の英ちゃん劇団が、銀行員や警察官になりすました詐欺を題材にした「詐欺にはご用心」を、国見町の国見歌舞伎保存会が忠臣蔵の一場面「仮名手本忠臣蔵・七段目「一力茶屋の場」」を上演しました。また、10回記念として、県南落語や方言弁論が行われ、会場からは大きな拍手が送られました。



国見歌舞伎



英ちゃん劇団

9月
3,4日

黒津崎海岸で アカウミガメがふ化・2年ぶり



産卵から約2カ月後、ふ化した稚ガメが元気よく海に入っていました

国東町の黒津崎海岸で、9月3日(土)・4日(日)で合わせて47匹のアカウミガメのふ化が2年ぶりに確認されました。

6月末、地元の黒木スマ子さん(67)が、産卵の跡を発見し、ウミガメの保護・調査を行う「大分うみがめ・ネットワーク」に連絡をしました。連絡を受けた内田桂事務局長やメンバーの皆さんは現地へ。連絡を受けた内田桂事務局長やメンバーの皆さんは現地へ119個の産卵を確認し、温度計を設置して観察を続けてきました。

また、海岸の清掃活動などに取り組む「くにさき海亀プロジェクト(糸永和人代表)」は、産卵場所に注意を促す看板を設置し、地元の方と協力して見守り活動を続けてきました。

未来に向かってタスキリレー

9月
25日

9月25日(日)、第12回九州瀬戸内高校女子駅伝競走大会が市役所安岐総合支所をスタート・フィニッシュとする5区間21.0975kmで競われました。

大会は、九州や瀬戸内の高校と、東日本大震災復興支援の一環として、東北3県から有力校3校(岩手県立盛岡第四高校・宮城県立利府高校・福島県立田村高校)を招待して合計34校(40チーム)の参加で開催され、京都府の立命館宇治高等学校が優勝を果たしました。地元国東高校も昨年より約10分記録を更新する健闘を見せました。

その他の復興支援として、東日本地域と国東の特産品や岩手県の生めんを使ったオリジナルめん料理が販売されました。また、震災の影響で大分県に避難している方を招待する応援ツアーには、22人が参加して、ふるりのチームに声援を送りました。



9月
24日

母校への熱い思いを胸に大恩の絆を確認



9月24日(土)、大恩小学校の閉校事業として懇親野球大会が国東野球場で行われました。同校少年野球チームの初代監督の故徳丸信光さんを偲び「信光杯」と名づけた大会には、小学生からOBや歴代監督・コーチ、大恩小関係者など約40人が参加しました。紅白に分かれて対戦した試合は、8対8の引き分けとなりました。試合後の懇親会では、思い出話に花が咲きました。